

志村 雄飛 (2014 年卒)

留学施設 Humanitas Research Hospital

留学期間 2025 年 4 月～2026 年 3 月

2025 年から 2026 年にかけて、イタリア・ミラノの Humanitas Research Hospital に留学する機会をいただきました。肝腫瘍に対する脈管剥離手技（当科でいう SM0 切除）を中心に学ぶことを目的としておりましたが、その前提となる解剖学的認識において大きな衝撃を受けました。Humanitas では肝静脈間を交通する Communication Vein を同定し、それを温存することで残肝機能を最大限確保するという戦略が取られていました。これまで日本で多くの脈管バリエーションを経験してきたつもりでしたが、このような視点が切除ラインの決定に影響し得るという認識は十分ではありませんでした。目の前で展開される手術を見ながら、自分がまだ見えていなかった世界の広がりを感じ、肝臓外科という分野の奥深さと可能性に改めて圧倒される思いでした。

留学を通して得られたものは、目の前の常識を問い直す力だと思います。自分の世界観を広げるために、皆様も留学を視野に入れてみませんか？



外科病棟の前で娘と



医局で Torzilli 教授[写真右]と撮影



素敵なレストランでの歓迎会



ミラノのシンボル・ドゥオーモ